

平成30年9月 治験審査委員会議事概要

日時 : 平成30年9月13日 (木) 17:30 ~ 18:30

場所 : 日本赤十字社医療センター 講堂3

出席者: (委員長) 日吉 徹

(委員) 今門 純久・鈴木 憲史・永岡 栄・高屋 和彦・石田 耕太・中根 直子・角 公彦 (非専門)・臼井 良江 (非専門)・西村 忠洋 (非専門)・佐々木 惣一 (院外、非専門)・岡崎 廉治 (院外、非専門)

欠席者: (委員) 原 英喜 (院外、非専門)

新規審査依頼

(1) ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第Ⅲ相試験

【審議】

これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき実施の妥当性について審議

【審査結果】

治験実施を「修正の上承認」

※同意説明文書及び参加同意書の修正

2. 継続審査、治験実施計画書の変更及び新たな安全性情報の入手等による治験継続の可否の審査依頼及び逸脱に対する承認

(1) リウマチ患者を対象としたASP015K継続投与試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(2) 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にカルフィルゾミブ, デキサメタゾン及び Daratumumabとカルフィルゾミブ及びデキサメタゾンを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(3) 再発及び難治性の多発性骨髄腫患者を対象にデキサメタゾン併用時のカルフィルゾミブ週1回投与と週2回投与を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(4) ブリストル・マイヤーズ株式会社の依頼によるelotuzumabの第II相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(5) 武田薬品工業株式会社による第I相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(6) 武田薬品工業株式会社の依頼による初発の多発性骨髄腫患者を対象としたMLN9708の第3相試験

【審議】

安全性情報については2-(5)と同時審議

当センターで発生した有害事象について治験を行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(7) 武田薬品工業株式会社の依頼による幹細胞移植歴のない初発の多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomibの第3相試験

【審議】

安全性情報については2-(5), (6)と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(8) A Phase 3, Randomized, Controlled, Open-label, Multicenter, safety and Efficacy study of Dexamethasone Plus MLN9708 or Physician's Choice of Treatment Administered to Patients With Relapsed or Refractory Systemic Light Chain (AL) Amyloidosis
再発又は難治性の全身性ALアミロイドーシス患者を対象としたデキサメタゾン+MLN9708
又は医師が選択する治療法の第3相ランダム化非盲検他施設共同安全性・有効性比較試験**

【審議】

安全性情報については2-(5)～(7)と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

当センターで発生した有害事象について治験を行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(9) 武田薬品工業株式会社の依頼によるイキサゾミブの第2相試験

【審議】

安全性情報については2-(5)～(8)と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(10) 武田薬品工業株式会社の依頼による初発の多発性骨髄腫患者を対象としたMLN9708の第3相試験

【審議】

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(11) 武田薬品工業株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたIxazomib Citrate (MLN9708) の第3相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(12) 再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした、daratumumab、レナリドミド及びデキサメタゾン (DRd療法) とレナリドミド及びデキサメタゾン (Rd療法) の比較第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(13) ヤンセンファーマ株式会社の依頼による未治療多発性骨髄腫患者を対象としたJNJ-54767414の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(14) 高用量化学療法及び自家造血幹細胞移植が非適応の日本人の治療歴のない多発性骨髄腫患者を対象にJNJ-54767414 (Daratumumab) をレナリドミド+デキサメタゾンと併用投与 (DRd) する第Ⅰb相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(15) 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と静脈内投与を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(16) 多発性骨髄腫標準治療レジメン併用下のダラツムマブ皮下投与を評価する多施設共同第2相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(17) ハイリスクのくすぶり型多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と積極的経過観察を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(18) 未治療の全身性ALアミロイドーシスにおけるダラツムマブとシクロホスファミド, ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (CyBorD) レジメンの併用及びCyBorDレジメン単独の有効性及び安全性を評価するランダム化第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(19) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたSAR650984の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(20) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたSAR650984の第Ⅲ相試験

【審議】

安全性情報については2-(19)と同時審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
当センターで発生した有害事象について治験を行うことの妥当性について審議
治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(21) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたSAR650984の第Ⅲ相試験

【審議】

安全性情報については2-(19), (20)と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(22) サノフィ株式会社の依頼による再発性かつ難治性多発性骨髄腫の日本人患者を対象とした isatuximabの第1相/2相試験

【審議】

安全性情報については2-(19)～(21)と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(23) 第一三共株式会社依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたデノスマブ (AMG162) の第Ⅳ相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(24) ノバルティス ファーマ株式会社の依頼によるLBH589D1201の第Ⅱ相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(25) CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫 (NHL) を有する患者を対象としたABP798の有効性、安全性及び免疫原性をリツキシマブとの比較において評価する無作為化、二重盲検試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(26) 多発性骨髄腫を対象としたポマリドミドの第三相国際共同試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(27) A Phase III, International, Randomized, Controlled Study of Rigosertib versus Physician's Choice of Treatment in Patients with Myelodysplastic Syndrome after Failure of a Hypomethylating Agent

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(28) アッヴィ合同会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたVenetoclaxの第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(29) アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(30) 再発又は再燃びまん性大細胞型B細胞リンパ腫を対象としたSyB L-0501とリツキシマブ併用による第Ⅲ相臨床試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(31) アッヴィ合同会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたベネトクラクスの第Ⅲ相試験②

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(32) 掌蹠膿疱症患者を対象としたCNT0 1959の有効性及び安全性を評価する多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相試験

【審議】

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

3. 製造販売後調査審査依頼

(1) ラパリムスゲル0.2% (No.523) 使用成績調査

○シロリムス

対象 : 結節性硬化症に伴う皮膚病変

※ 平成30年8月8日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(2) ラクフィデラカプセル (No.524) 使用成績調査

○フマル酸ジメチル

対象 : 多発性硬化症

※ 平成30年8月13日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

4. 製造販売後調査実施計画変更による調査継続の可否

(1) Alair気管支 サーモプラスティシステム 使用成績調査：期間延長

○医療機器

対象 : 喘息患者

※ 平成30年8月7日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(2) ヴィキラックス配合錠 (No.456) 使用成績調査：期間延長

○オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル

対象 : C型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変

※ 平成30年8月7日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

5. 直接閲覧を伴うモニタリング・監査結果の報告 (実施報告)

(1) MLN9708 (No.224)

治験依頼者 : 武田薬品工業株式会社

治験責任医師：血液内科・医師 鈴木 憲史

(2) SAR650984 (No.244)

治験依頼者 : サノフィ株式会社

治験責任医師：血液内科・医師 鈴木 憲史

(3) CC-4047 (No.234)

治験依頼者 : セルジーン株式会社

治験責任医師：血液内科・医師 鈴木 憲史

(4) SAR650984 (No.239)

治験依頼者 : サノフィ株式会社

治験責任医師：血液内科・医師 鈴木 憲史

(5) MLN9708 (No.241)

治験依頼者 : 武田薬品工業株式会社

治験責任医師：血液内科・医師 鈴木 憲史

(6) JNJ-54767414 (No.252)

- 治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (7) BMS-901608 (No.164)**
治験依頼者 : ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (8) デノスマブ (No.172)**
治験依頼者 : 第一三共株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (9) JNJ-54767414 (No.253)**
治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (10) MLN9708 (No.247)**
治験依頼者 : 武田薬品工業株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (11) MLN9708 (No.197)**
治験依頼者 : 武田薬品工業株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (12) Elotuzumab (No.237)**
治験依頼者 : ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (13) ABP798 (No.208)**
治験依頼者 : エイツーヘルスケア株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (14) JNJ-54767414-SC (No.243)**
治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (15) ASP015K (No.228)**
治験依頼者 : アステラス製薬株式会社
治験責任医師 : アレルギー・リウマチ科・部長 鈴木 毅
- (16) MLN9708 (No.221)**
治験依頼者 : 武田薬品工業株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (18) JNJ-54767414 (No.255)**
治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (19) SAR650984 (No.251)**
治験依頼者 : サノフィ株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (20) DSP-7888 (No.232)**
治験依頼者 : 大日本住友製薬株式会社
治験責任医師 : 血液内科・医師 鈴木 憲史
- (21) ABT-199 (ベネトクラクス) (No.240)**
治験依頼者 : アッヴィ合同会社

治験責任医師：血液内科・医師 鈴木 憲史

(指摘事項)

○ なし

6. 治験終了・治験中止

○ なし

7. 製造販売後調査終了報告

(1) ルセンチス硝子体内注射液2.3mg/0.23ml (No.286) 特定使用成績調査

○ラニビズマブ

対象 : 病的近視における脈絡膜新生血管を有する患者

(2) オクトレオスキャン静注用セット (No.479) 使用成績調査

○塩化インジウム・ペンテトレオチド

対象 : 神経内分泌腫瘍